

新撰規矩雛形

上



新撰大匠雛形

福井縣坂井郡桑村石橋第七號六十四番地

松原辰藏

卷之三 目錄

①

地廻リ隅木樨木口割之法  
ヂマワ スミキタルキコクヲリノサ

②

壹軒妻茅負裏甲木口之法  
ヒトスキツマカヤオヒツラカウコグチ

③

茅負木口轉之墨之法  
カヤオヒコクチコロビ スミ

④

隅木鼻切様之法  
スミギ ハナキリヨウ

⑤

地廻リ配付樨隅木造り法  
チマワ ハイツキタルスキキツ

⑥

茅負口脇外面樨割之法  
カヤオヒコクチワキントツラタルキワリ



⑦

茅負留配付襖切墨之法  
カヤオヒ トン キリスミ

⑧

茅負留之法  
カヤオヒ トン

⑨

地廻り隅木落掛リ之法  
オチカ

⑩

地廻り落掛リ之法  
オチカ

⑪

其二

⑫

隅木長サ及ビ束取之法  
スミキ ナカ オヨ ソカトリ

⑬

配付襖長サ取り法  
ハイソキ タルキ ト

⑭

隅木上端之取り法  
ウハバ ト

⑮

配付襖切墨之法  
キリスミ

⑯

茅負木口隅木口脇へ寫シ墨法  
クチキ 脇 スミ

⑰

反配付襖菱ケ付切墨之法  
ソリタイソキ タルキ ヒシ ツキ キリダミ

⑱

其二

⑲

壹軒大地反リ隅木造リ法  
ヒトヌキ オホヂソ スミギヅク

⑳

反茅負襖木口菱ケ之法  
ソリカヤオヒ タルキ コダチ ヒシ

㉑

茅負反リアル片留先切墨之法  
カヤオヒ ソ トノサキ キリダミ

㉒

振隅間透松葉金之法  
ソリ スミ マチヒ マツバ カネ



三

振隅配付榑切墨之法  
フリスミハイツキタネキリギミ

四

振隅大地隅木之造法  
オホヂスミキ ツクリ

五

其二

六

振隅木榑入中出中上馬乘墨法  
タネキリチカデオカウ タネノツミ

七

振隅小平起シ榑長サ取り法  
フリスミコヒラオコ タネキリナド

八

其二

九

振隅茅負留立水上塲之切法  
カネオモ ドンタツミツタマキ

十

其二

十一

振隅木上端之取り法  
ウケバ

十二

其二

十三

振隅左右榑高サ取り法  
サユウタルキタカ ド

十四

振隅木上下之菱ケ木口取り法  
フリスミキ ウハシタ ヒシ ユグチド

十五

振隅木へ榑高サ出合之法  
デアヒ

十六

振隅木エ落掛り取ル法  
オチカケ ト

十七

振隅木地廻り落掛り之法  
ヂマリ オチカケ

十八

其二



① 一軒二軒二十二枝榑割之法

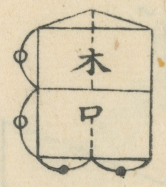
ヒトノキ 多々キ  
シタキワリ  
一軒二軒二十二枝榑割之法  
イチノキヲギソ カヤライ スミキ  
壹軒大地及リ茅負隅木ニゲ榑造ル法  
タルキツラ

新撰大匠雛形卷之三

① 地廻リ隅木榑  
水口割の法

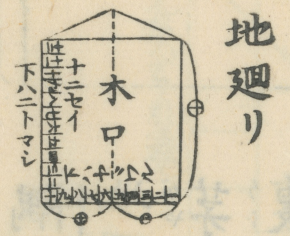


隅木

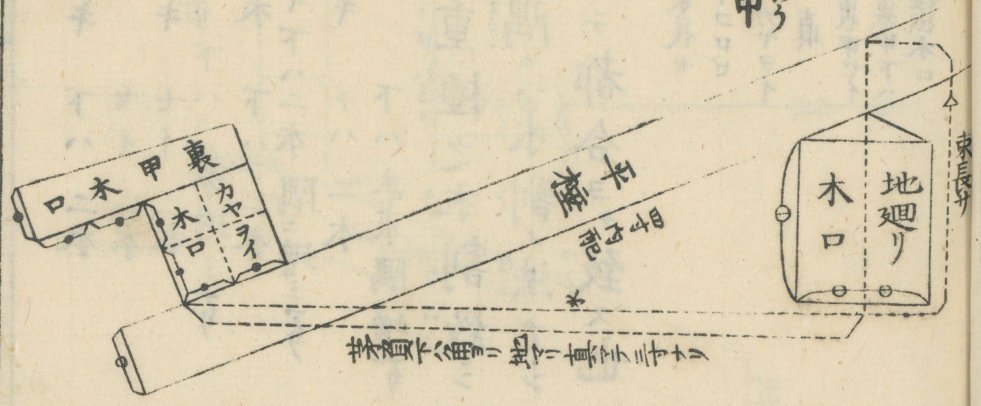


② 一軒妻茅負裏甲  
水口割の法

- ・印榑下ハ
- ・印榑セイ
- ・印隅木下ハ
- ・印隅木セイ
- ・全地廻り下ハ
- ・全地廻りセイ

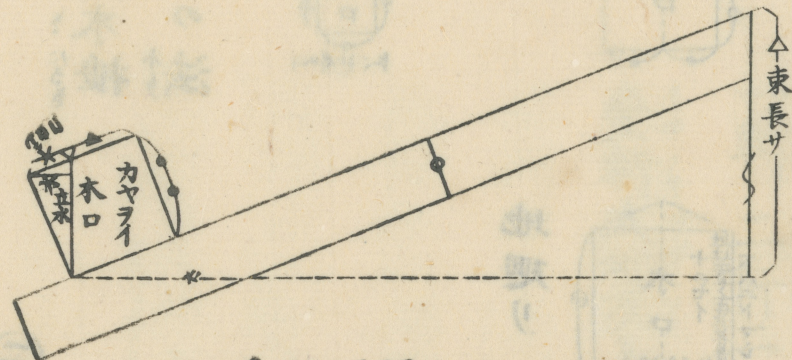


地廻リ





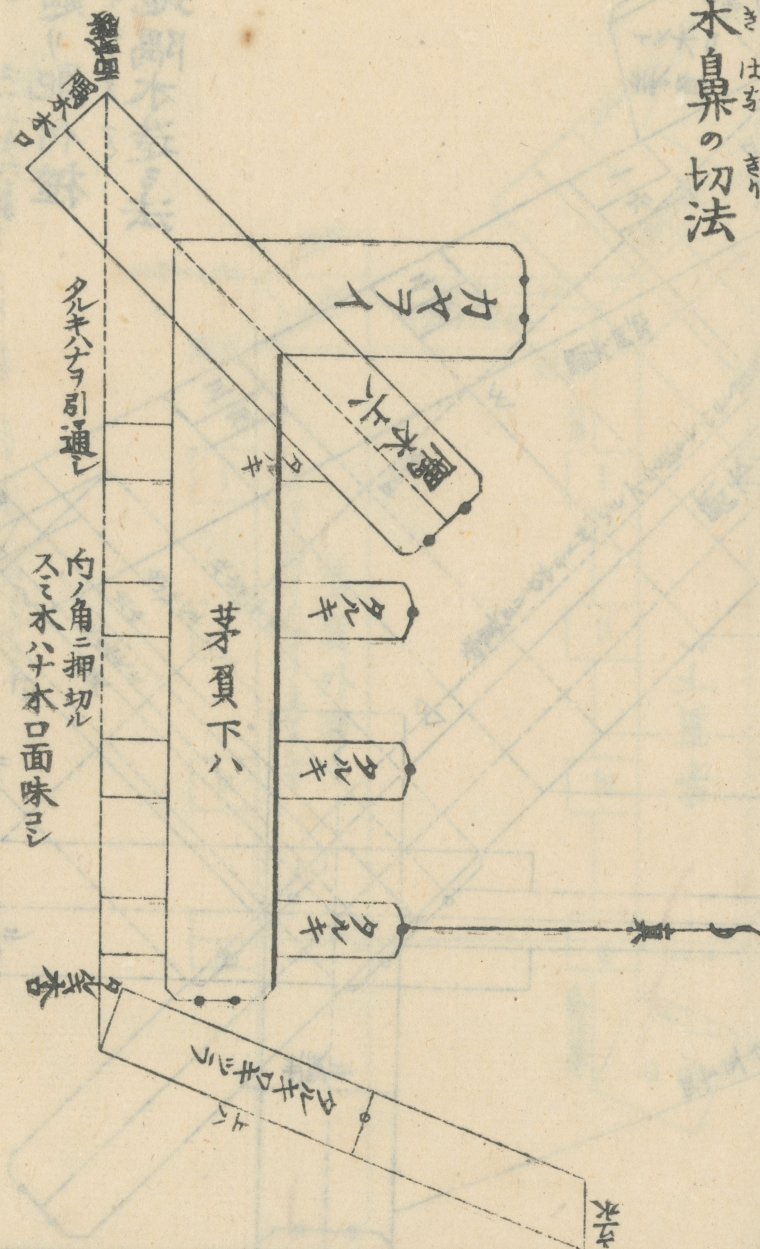
③ 茅負 木口 轉スミ法



隅水 下ハ (タルキ) 下ハ 二本  
 地廻リ セイハ (タルキ) セイハ 二本  
 茅負 セイハ (タルキ) 下ハ 二本  
 裏甲 セイハ (タルキ) 下ハ 二本  
 間廣 重極之木割致シ  
 候得共 間廣 隅ニ木割ノ法ナシ  
 番匠之心得ニテ都合ヨク致ス也

- △東長サ
- △下コロビ
- 下カヤライ
- 下真
- 下裏甲セイ
- 下裏甲下ハ
- 下極出水口

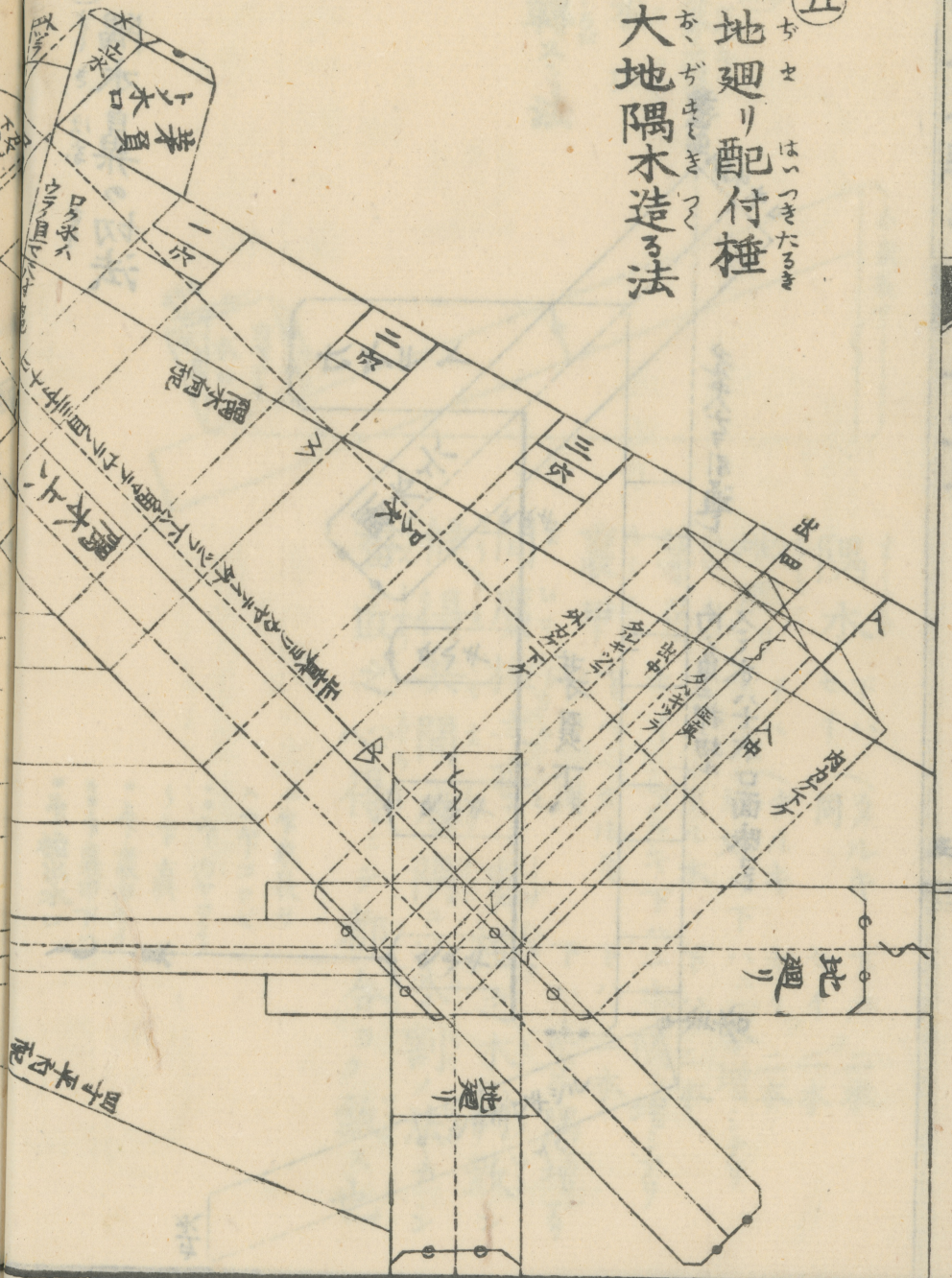
④ 隅水鼻の切法





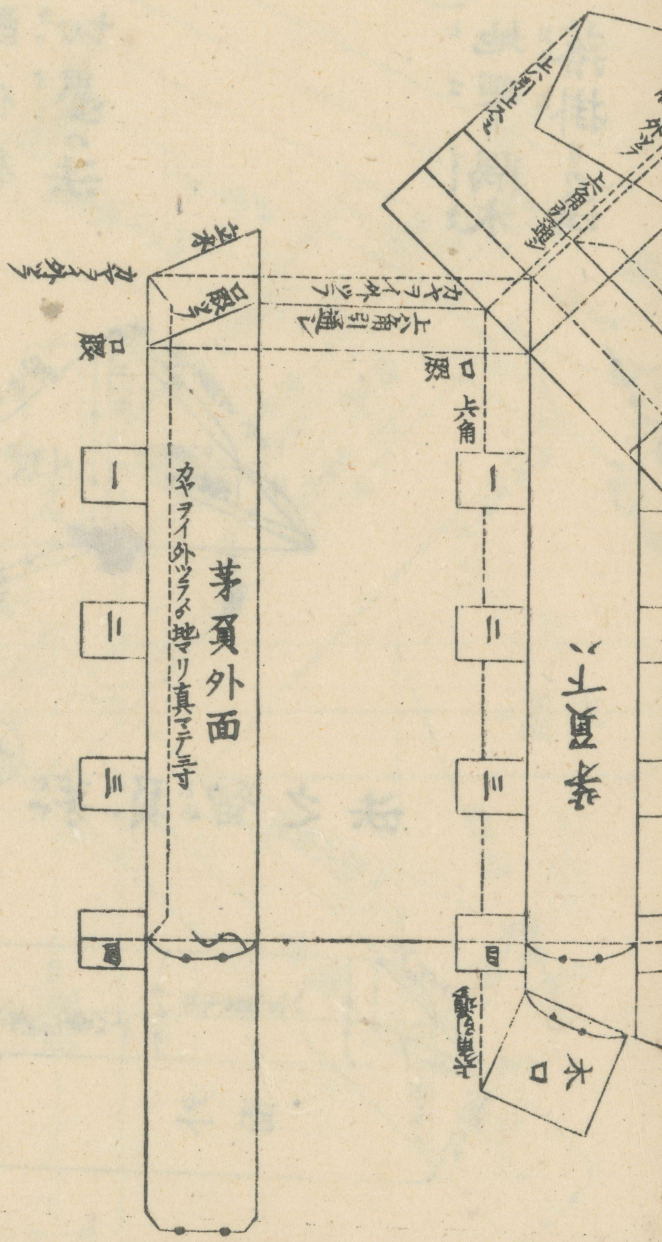
(五)

地廻り配付極  
大地隅水造る法



(六)

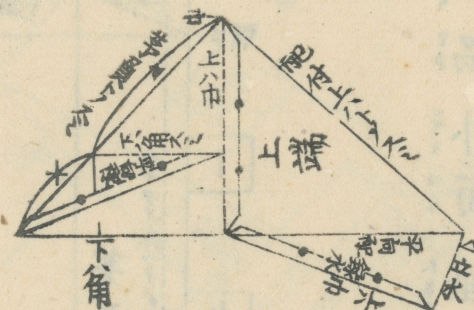
茅負口脇外面極割の法





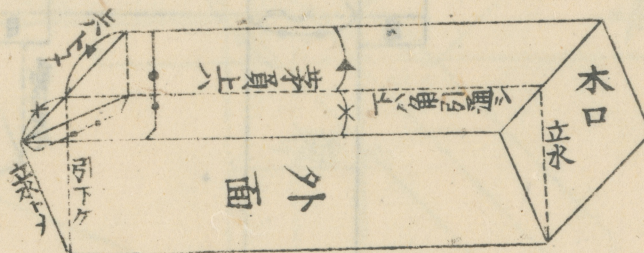
七

茅負留  
配付極  
切墨の法



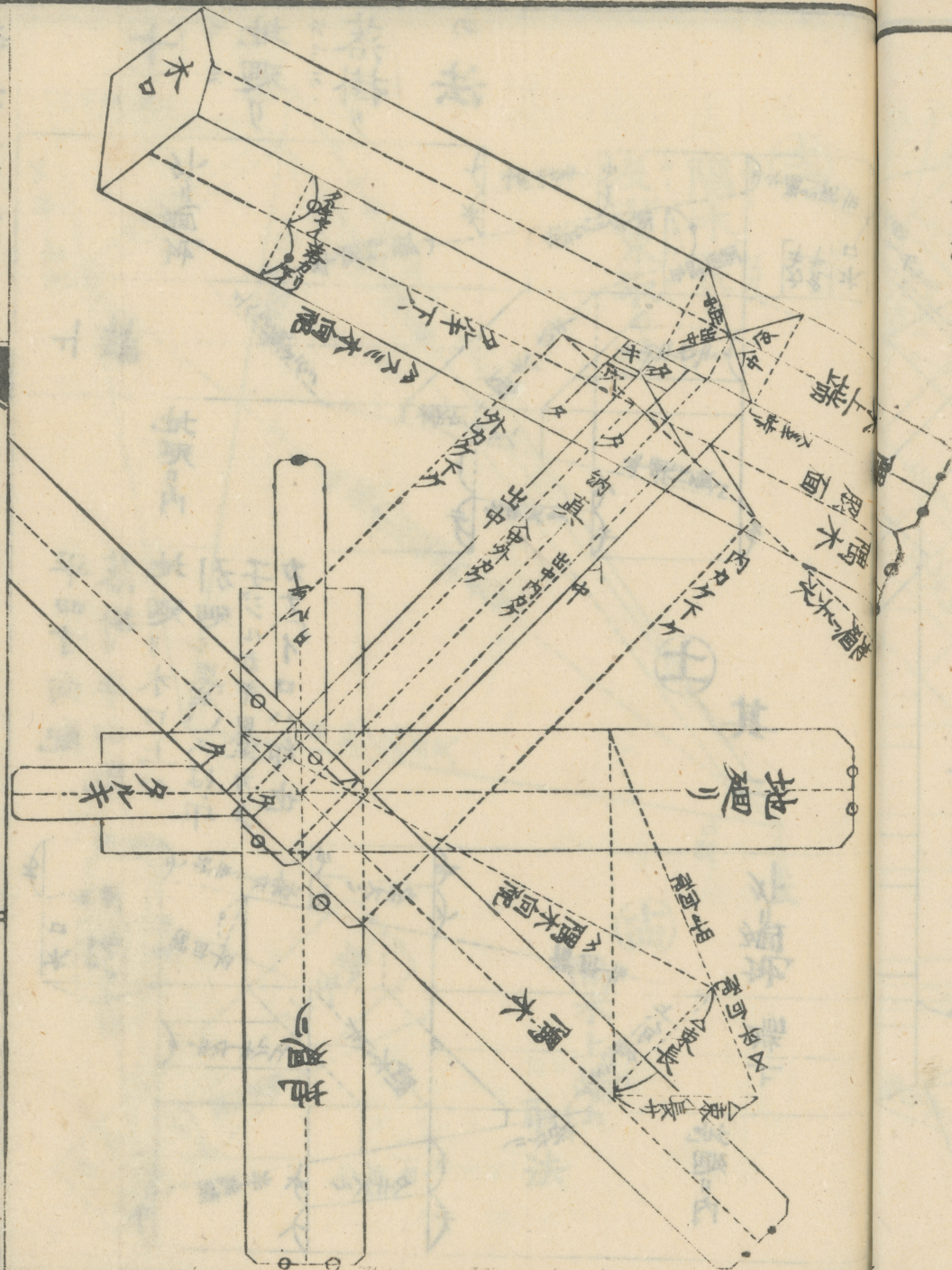
八

茅負留之法



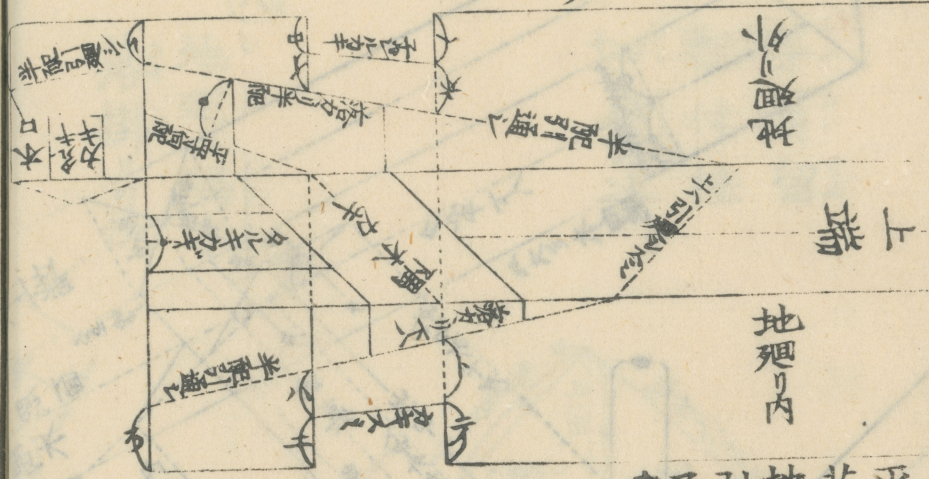
九

地廻り隅木  
落掛りの法



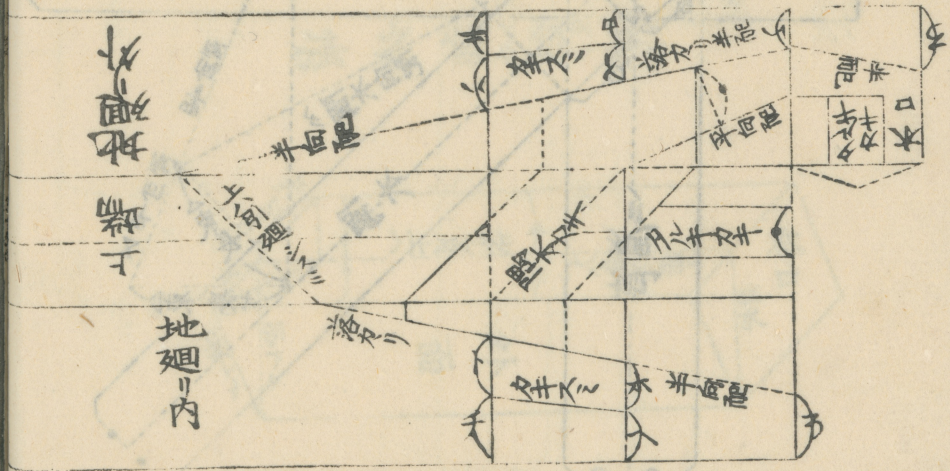


十 地廻り 落掛り の法



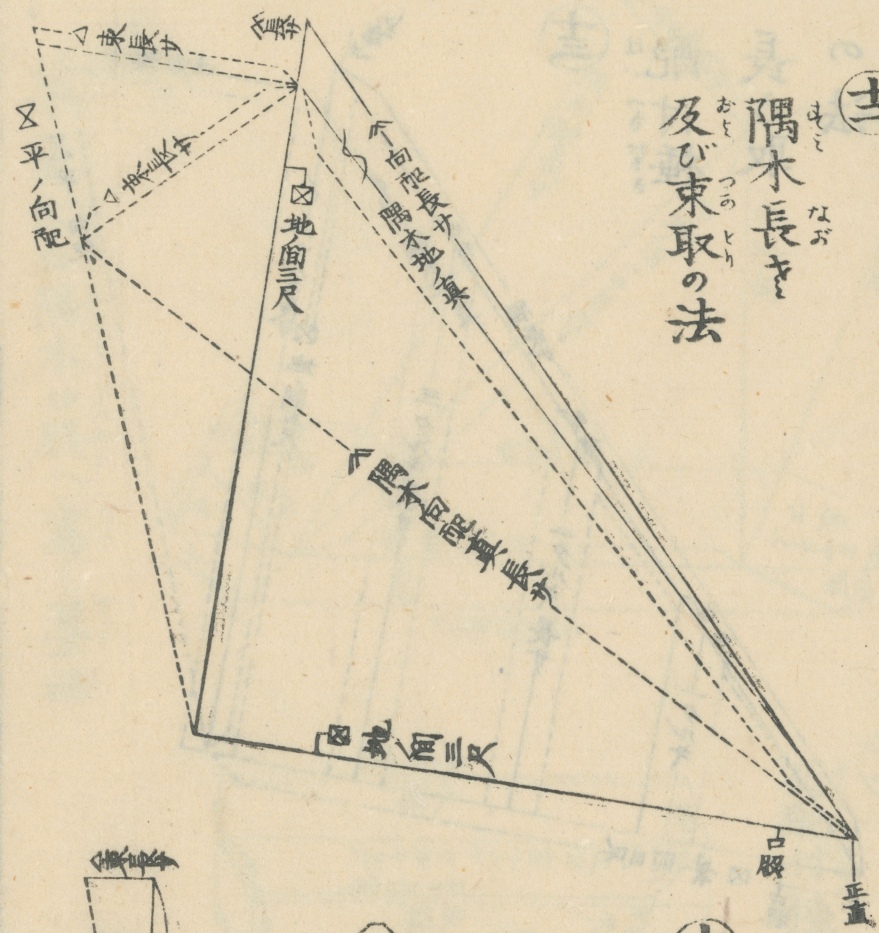
平四寸向配  
落掛り半向配  
地廻り木口上ハ  
引廻シ墨いろは印  
子ジルカギ墨カタ  
カナイロハ印也

十一 其二



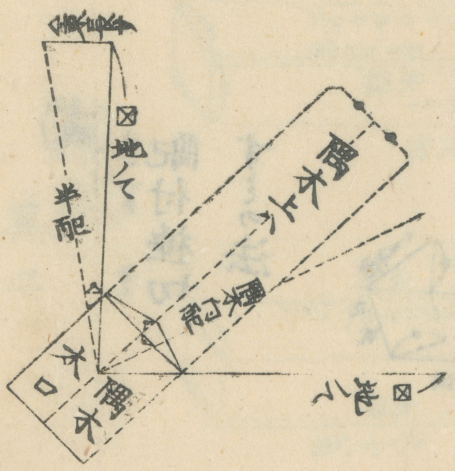
十二

隅木長き  
及び束取の法



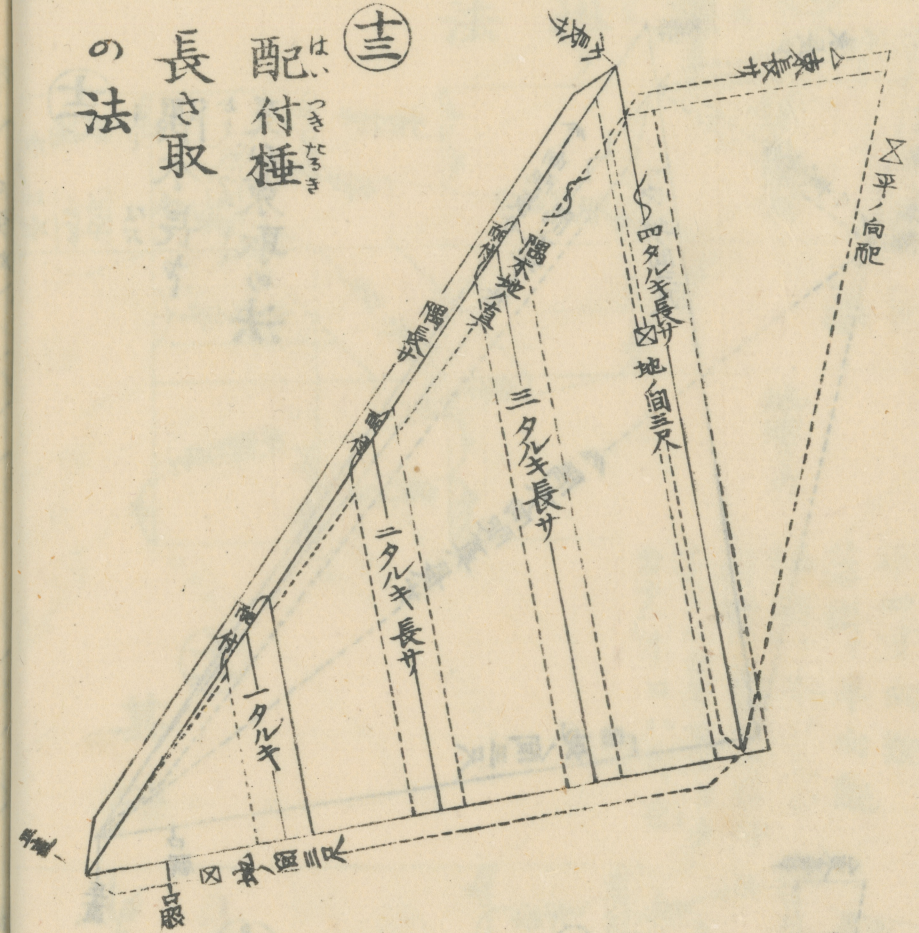
十三

隅木上端の  
取法

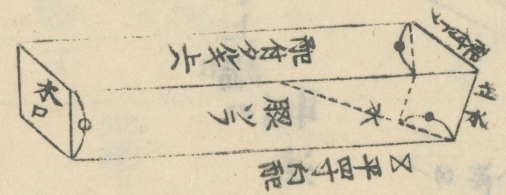




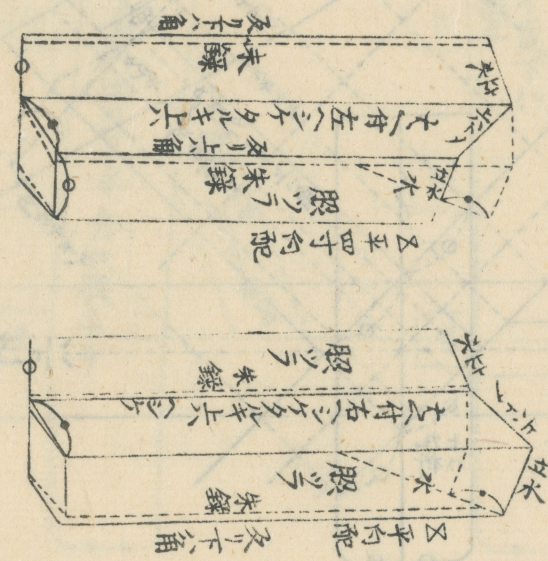
⑬ 配付極 長さ取 の法



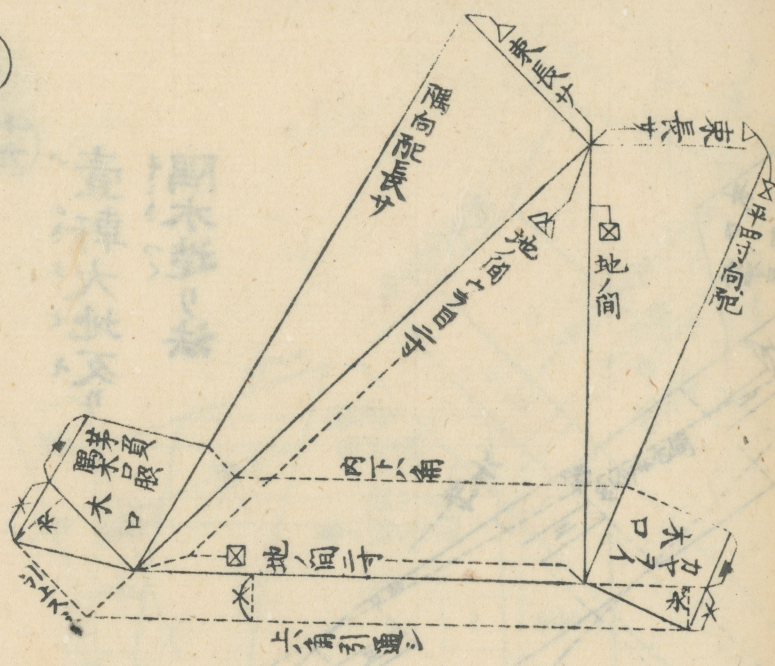
⑭ 配付極切すの法



⑮ 反配付極へしけ付切すの法



⑯ 茅負木口隅木口照へ寫し墨法

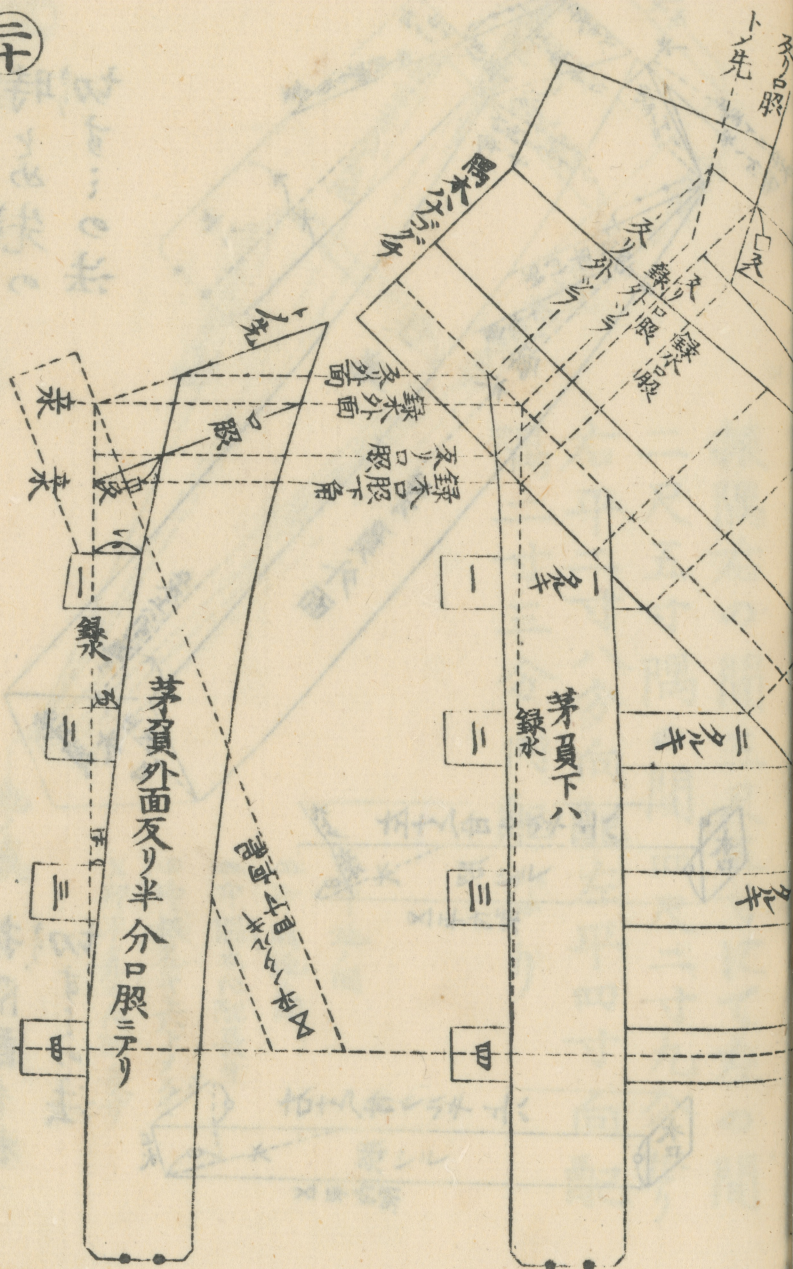


⑰ 其二



壹軒いのみき大地おち反そり

隅木造り法

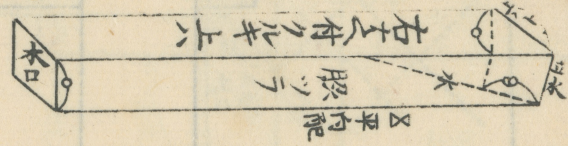
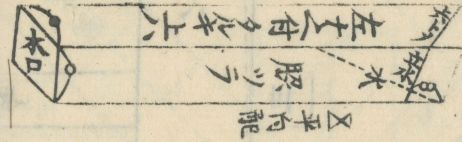
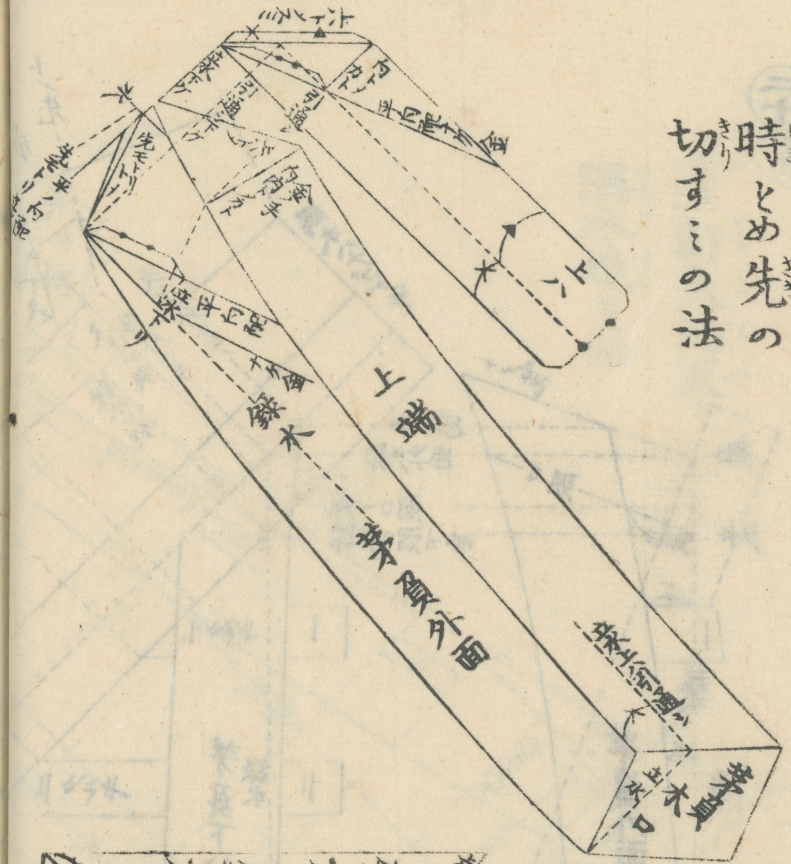


そ  
かや  
おー  
ころ  
き  
ま  
く  
ち  
反り茅負種木口へゝ第の法



廿一

茅負反有  
時とめ先の  
切すこの法



廿二

振隅配付極  
切すこの法

振隅右の間三尺五寸にて左の間  
二尺五寸隅の間四尺二寸九分なり  
右平二寸八分向配左平四寸向配  
隅二寸三分向配なり

廿三

振隅間遠松葉金の法

地ノ真

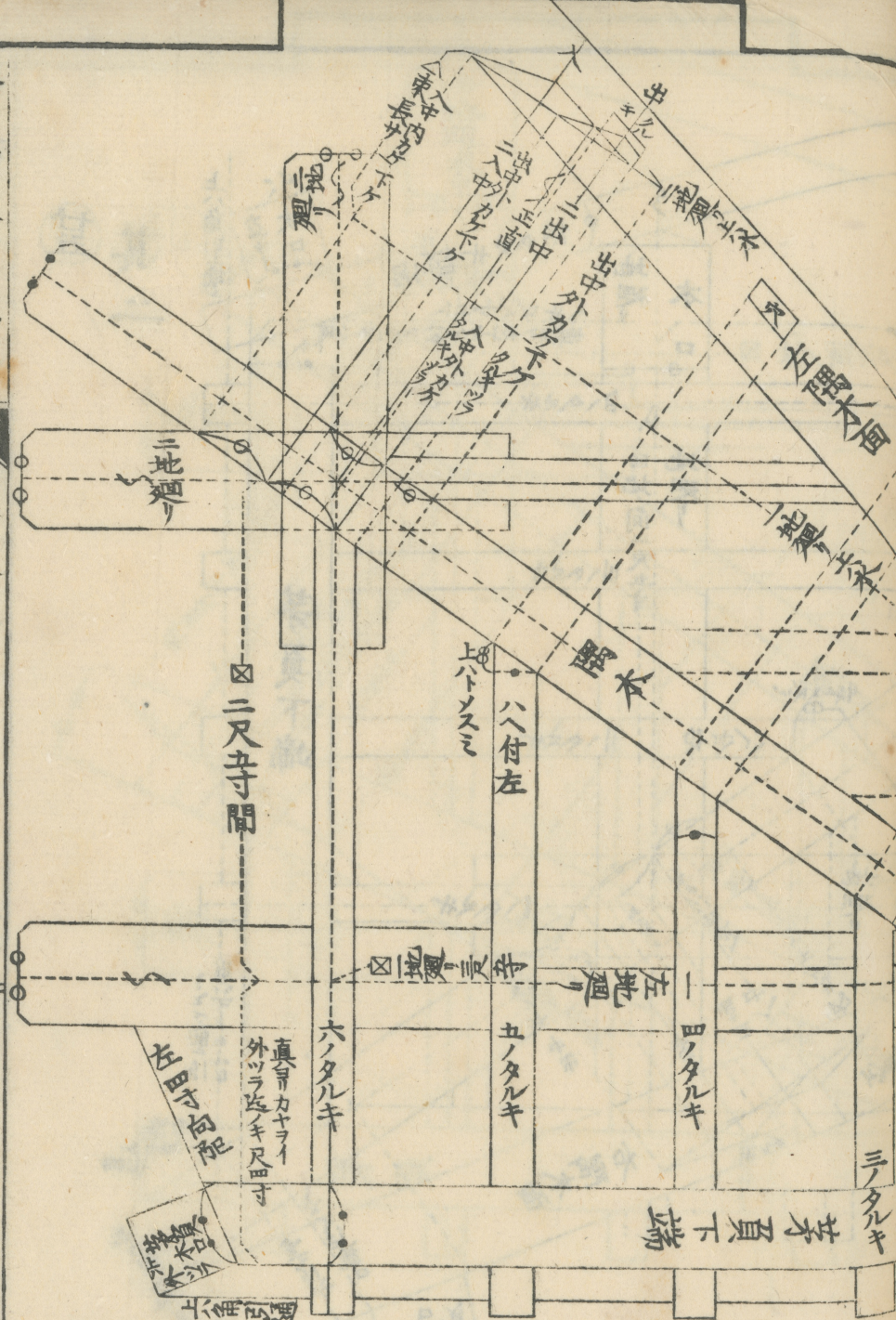
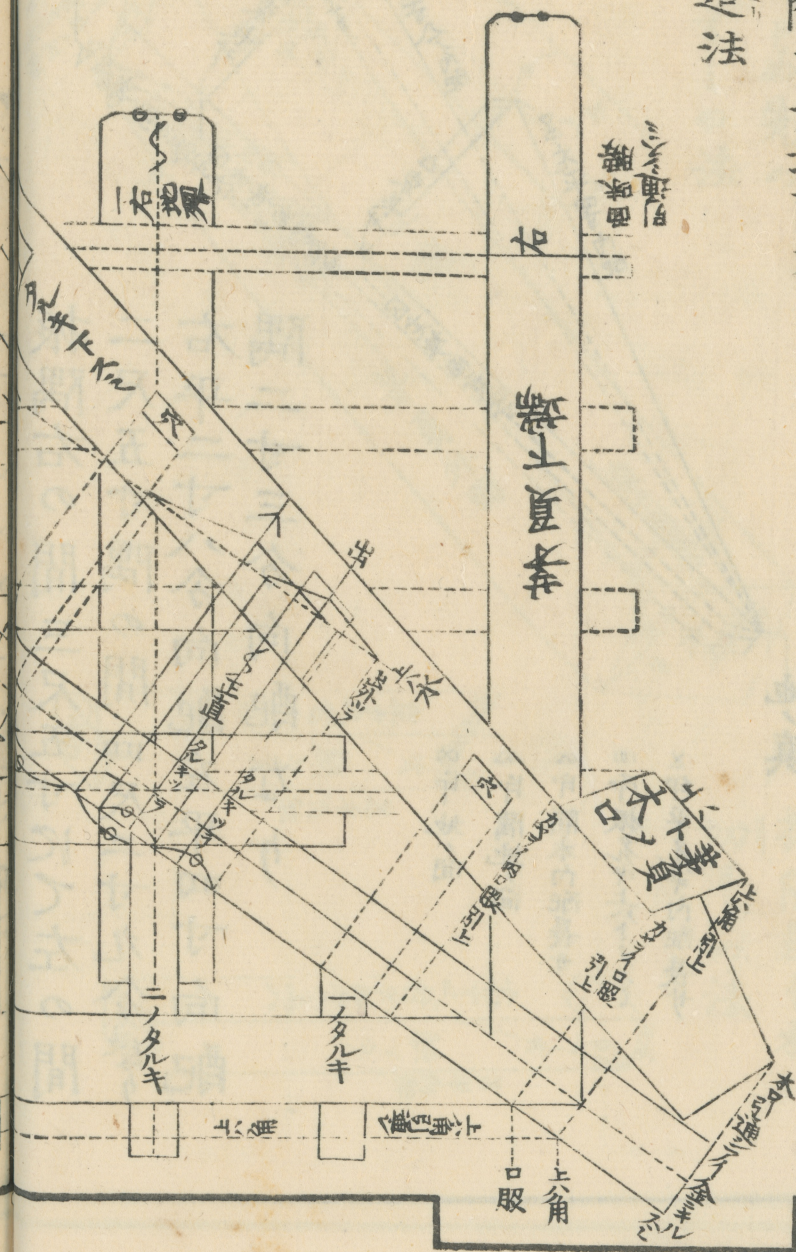
- ⊠印地ノ間
- △印隅地ノ間
- △印隅木内配長サ
- 印根名キ上ハトメスミ
- ×印平タルキ内配長サ



④

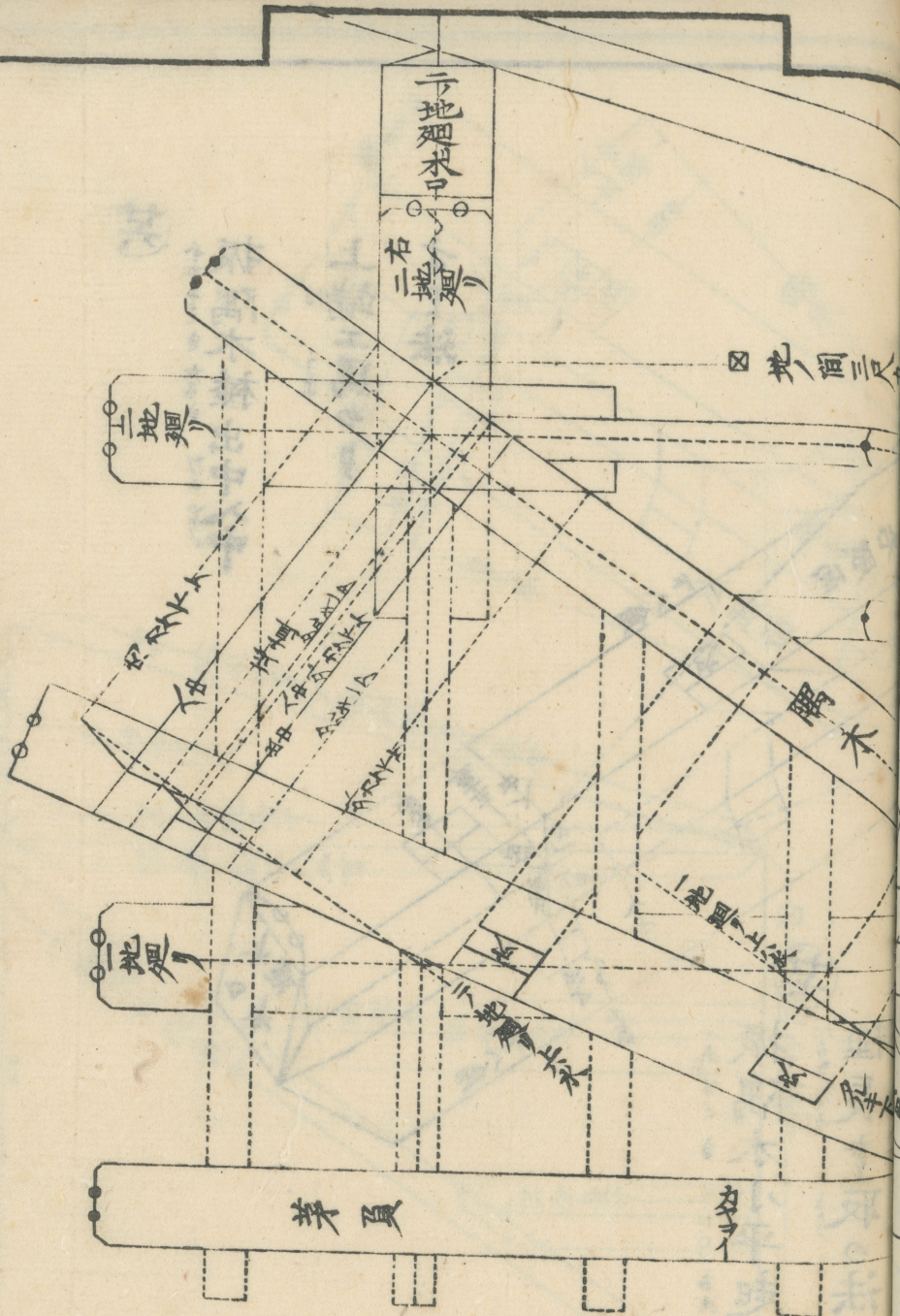
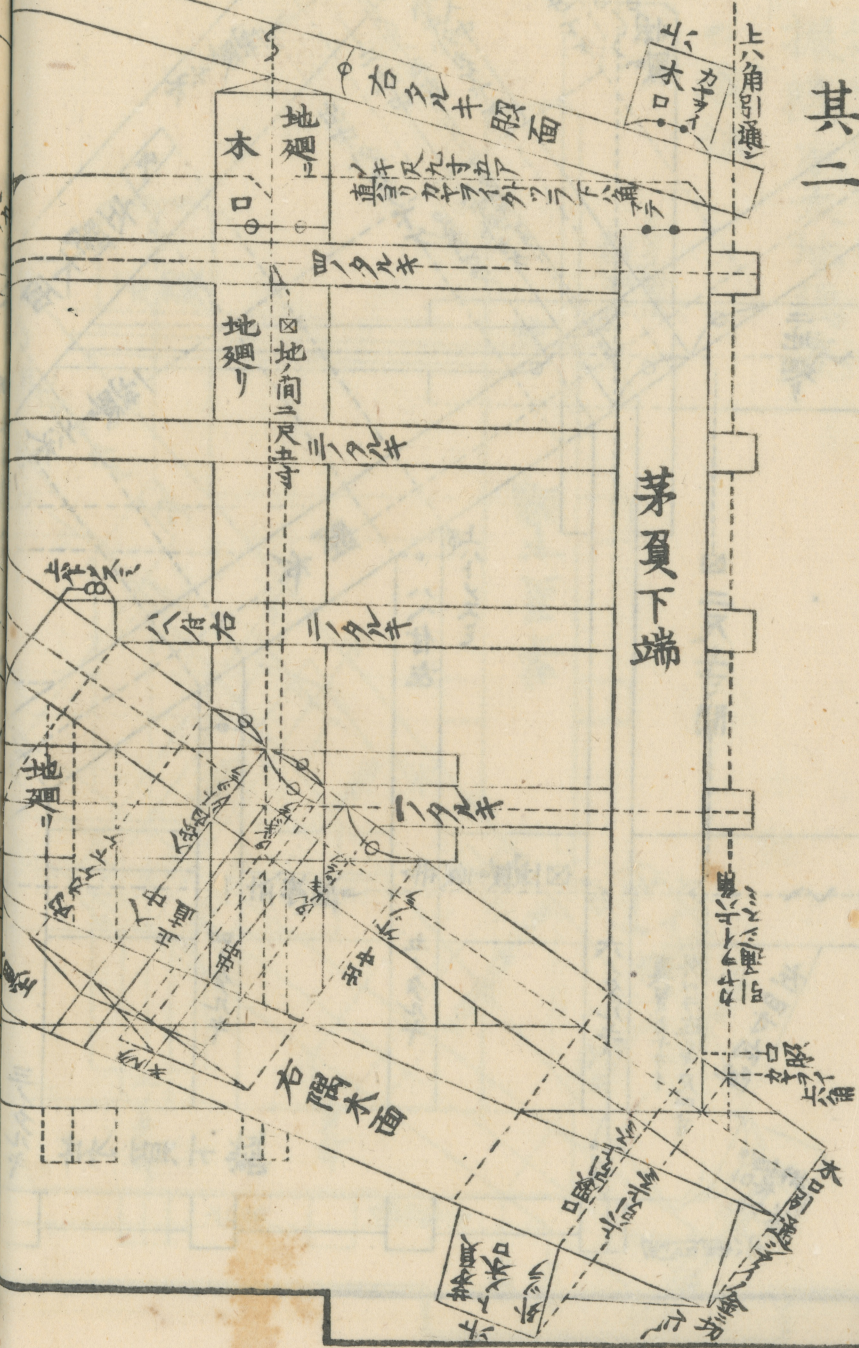
振隅木大地隅木

の造法





其五



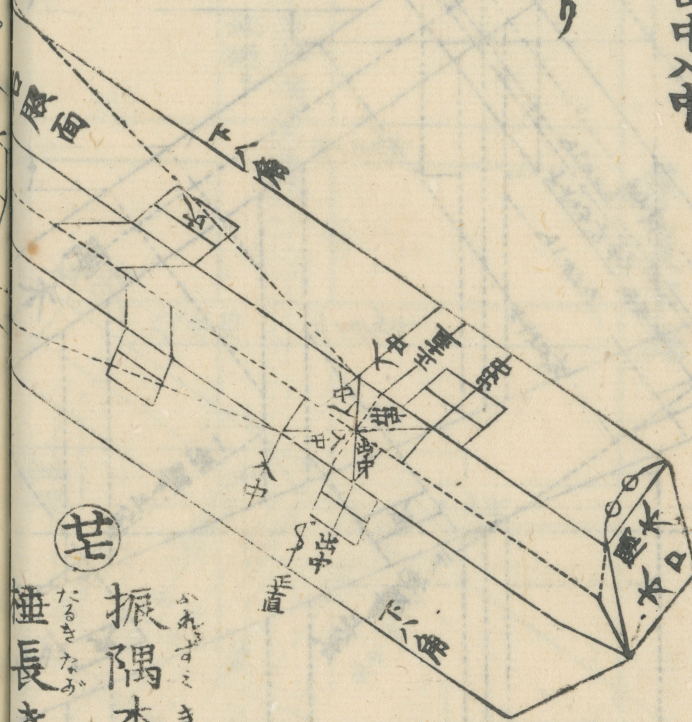


其

振隅木極出中ふれきき たるき なるき

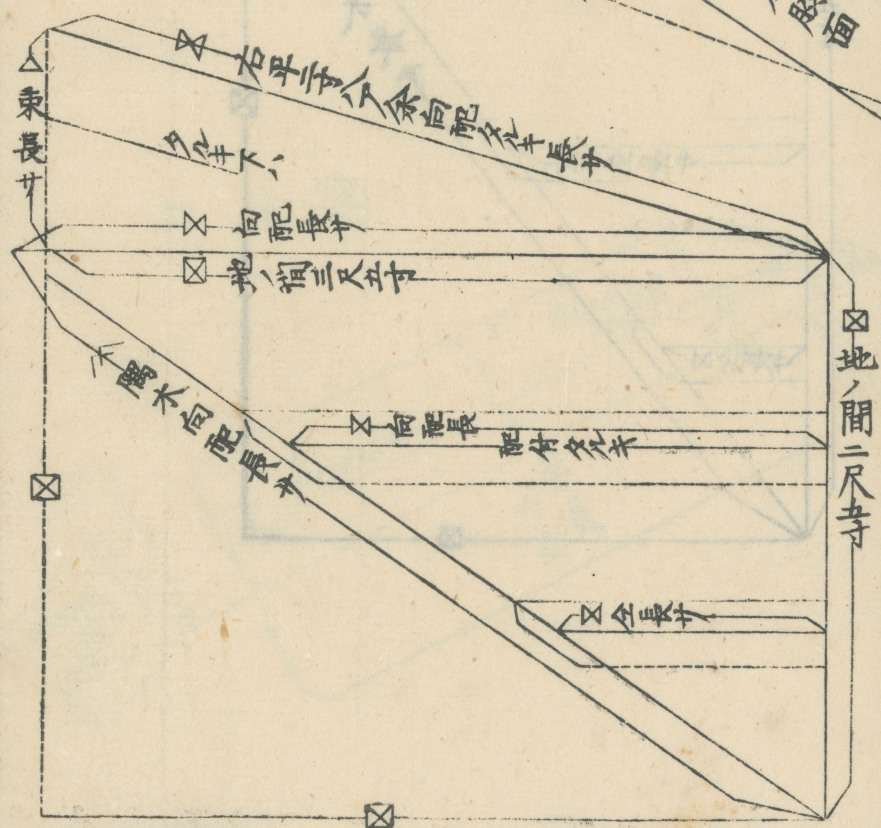
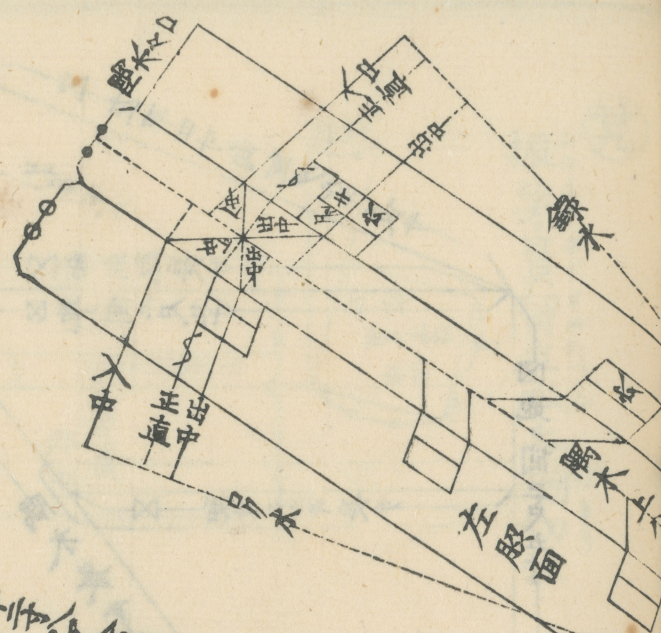
上端工馬は うまのり

すゑ法



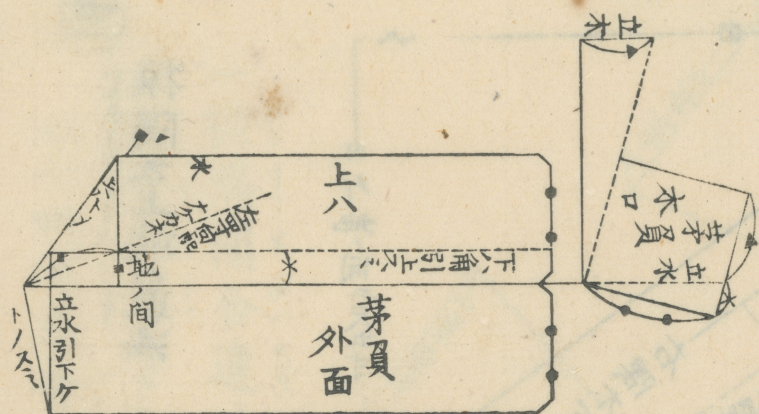
其

振隅木小平起  
ふれきき たるき なるき  
 極長き取との法

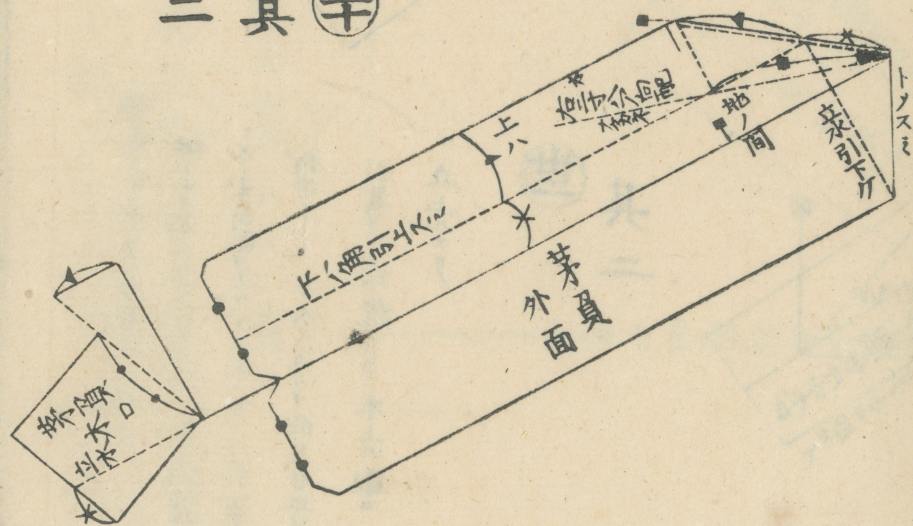




振茅負留立水上端切法



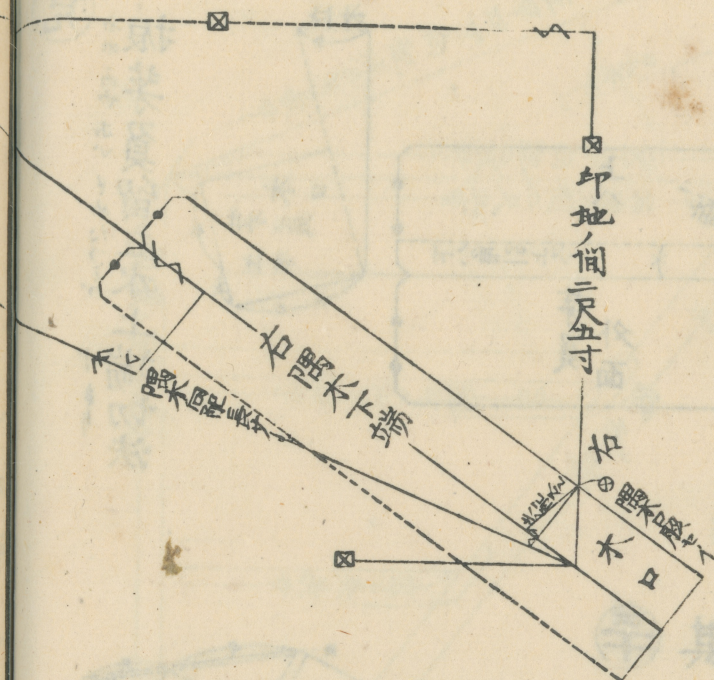
二其辛





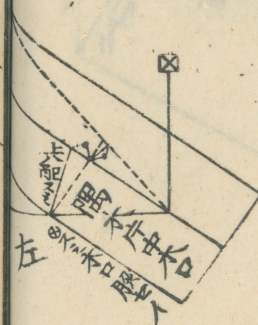
世二

振隅木上端の取法

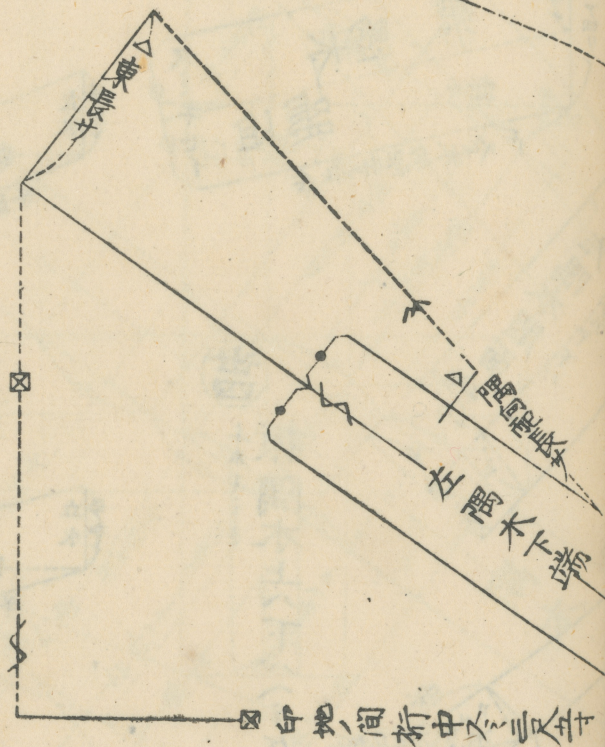
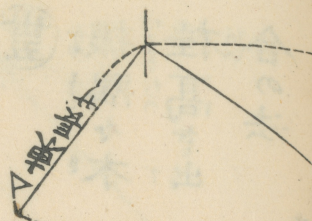


世三

其二



●印スミ木上ハ向配スミ也  
 但シスミ木上ハラ出ス六回ノ如ク惣間へ  
 スミ木向配ヲカケスミ木下ハラ引出シ  
 桁中スミスミ木大サ当リヲ曲尺手平スミ  
 引其ヨリ印程ヲスミ木上ハ配  
 立上ルナリ



一振隅間合違ハ付左右タルキ高ちのい有

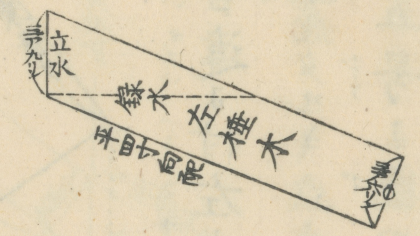
隅木立水とタルキ立水と三つ出合のす三十三

三十四或五号は圖の如く引出すなり



世

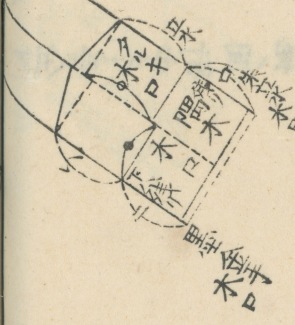
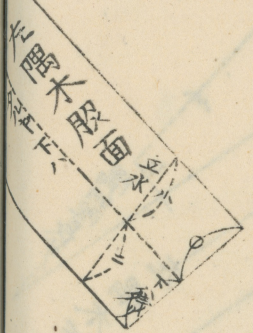
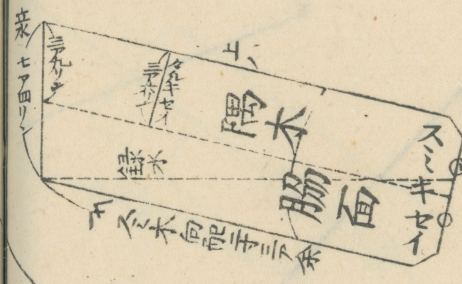
左右榑  
高き  
取り法



世

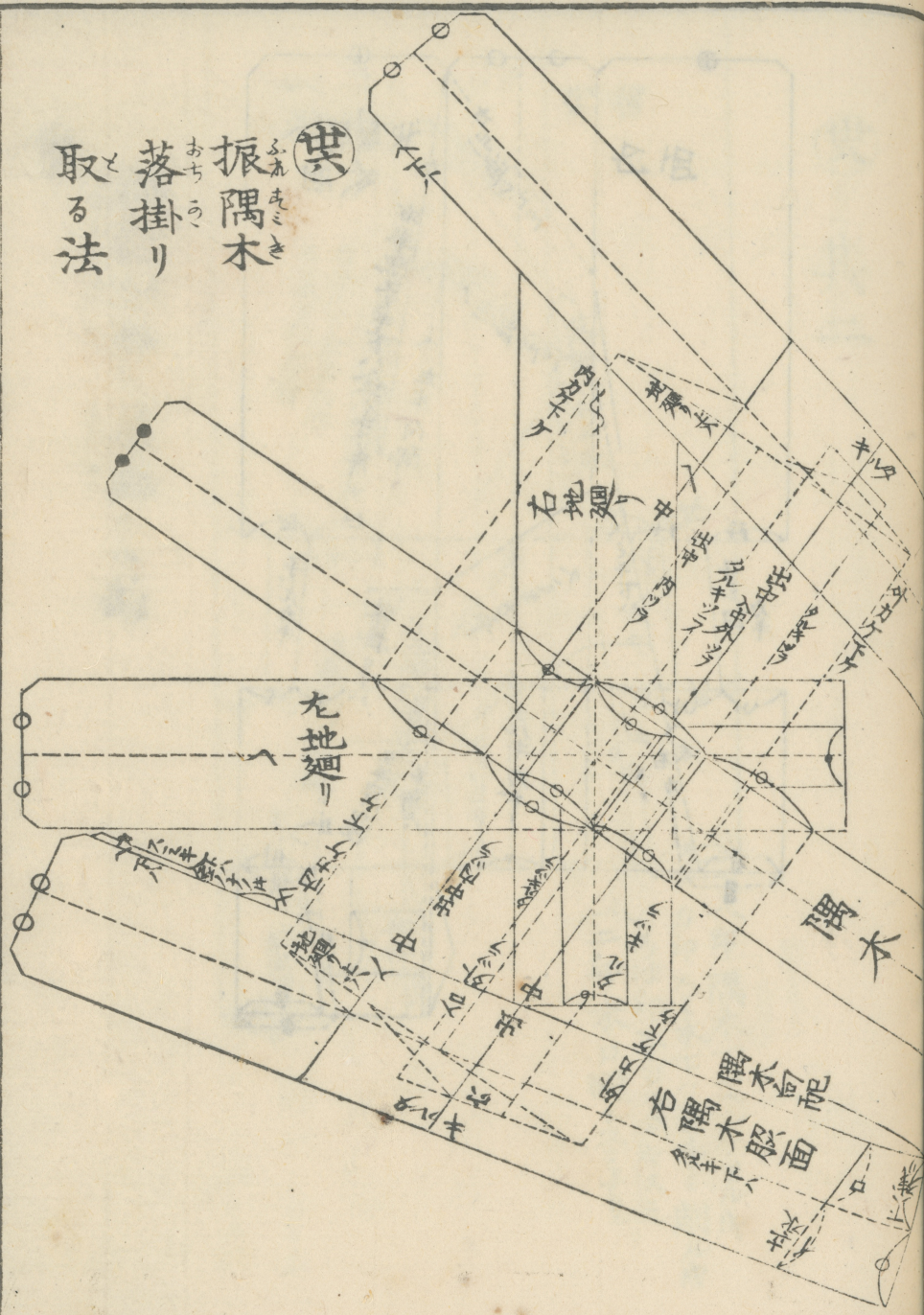
振隅木上下ハシケ水口取法

世  
振隅々木  
榑高き出  
合の法



世

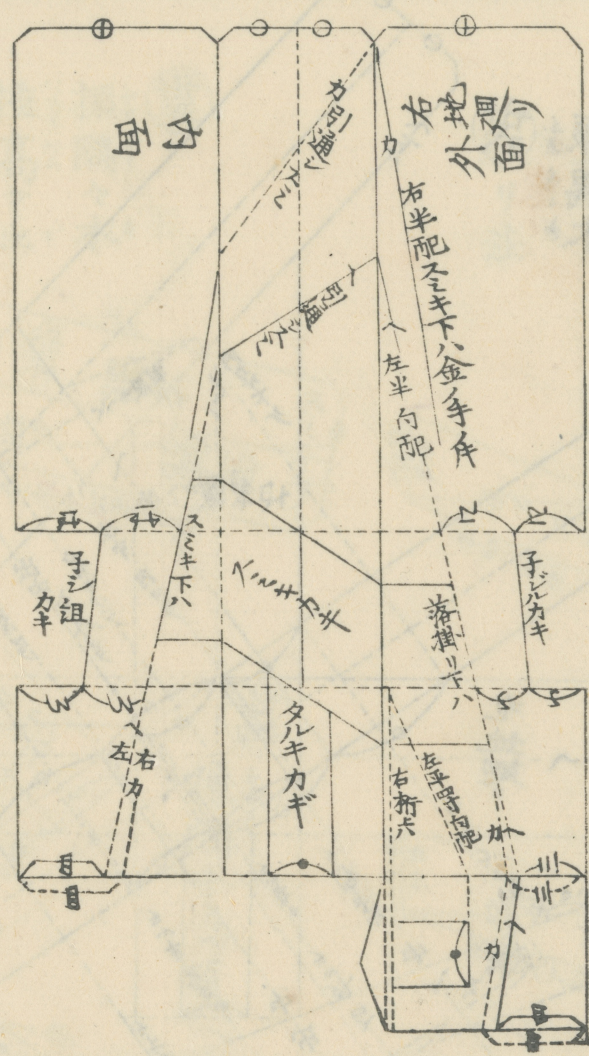
振隅木  
落掛り  
取る法





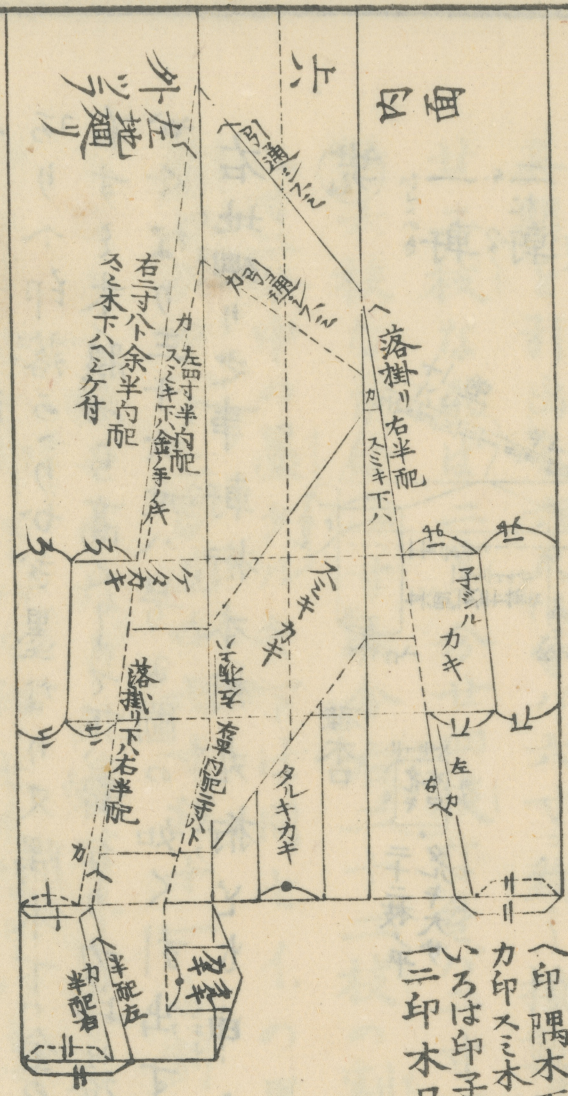
世

振隅地廻り落掛りの法



世

其二



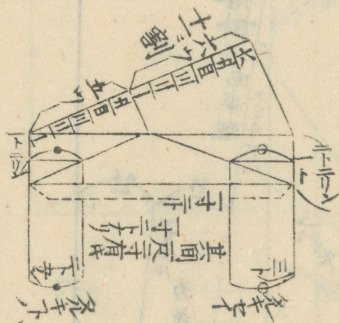
へ印隅木下ハシケアルキ  
カ印スミ木下ハ金手ニ削ルキ  
いろは印子シルカキスミ  
一二印木口廻シスミナリ



一落掛り割方地廻り下は左右同断のとき地廻りせい  
 向配ちがい有せいも右高くなり左の地廻りせい下る也  
 そと木左右脱つらせい同断より合せ隅木下へけ  
 けりへ印落よりかぎ墨なり又隅木下へ金の手致は  
 右すと木脱つら高くして下録なり力印落掛りす  
 かぐなり三十六元八号は圖の如く引出すなり  
 右地廻り之事軒桁本桁丸桁とも申也

兎

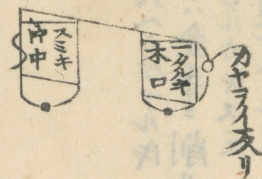
一軒  
 二軒  
 廿二枝  
 たるき割の法



榑木口

三十枝平  
 名キ  
 本口  
 名キ大サ

シケ多キ  
 隅木多ハ

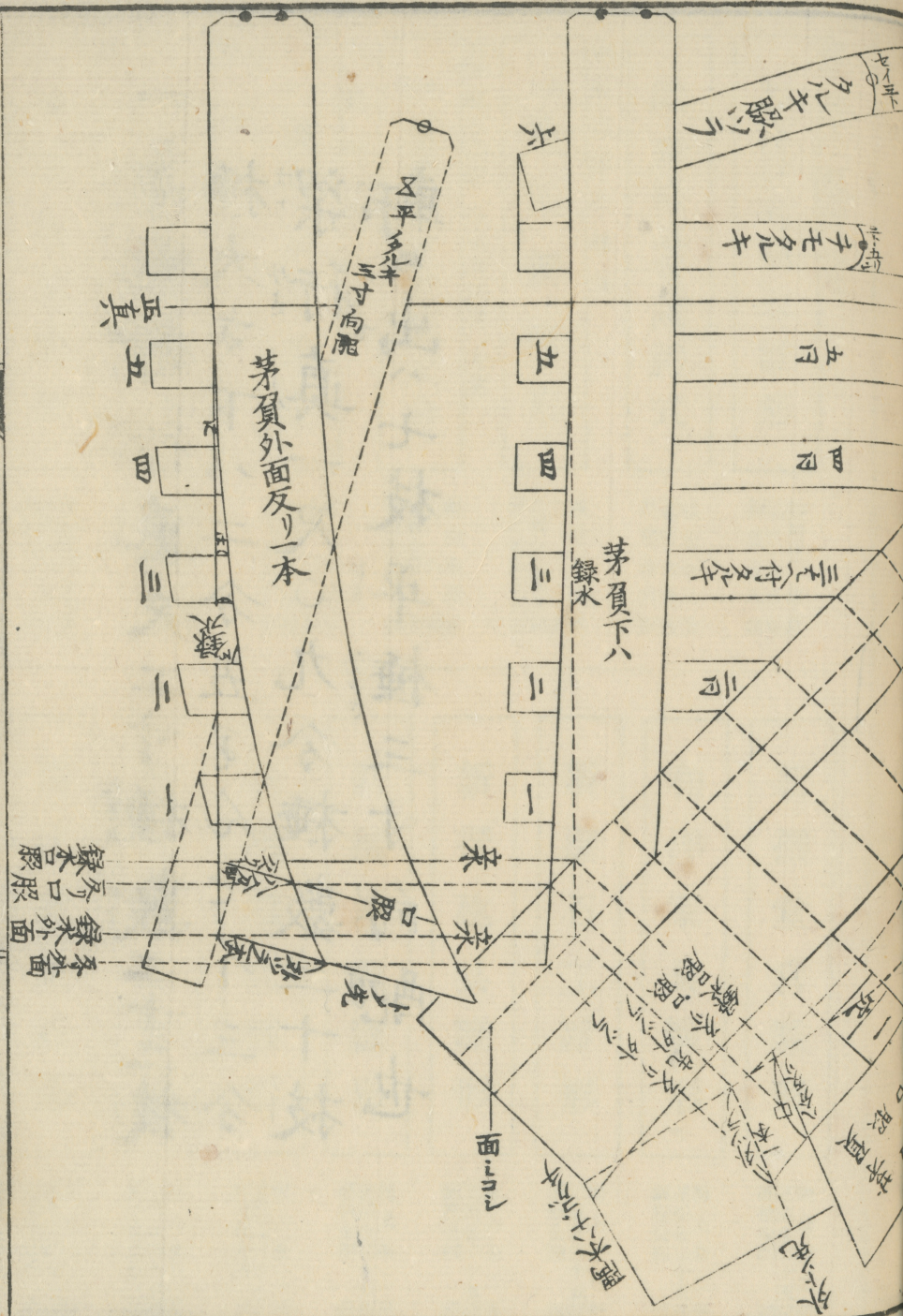
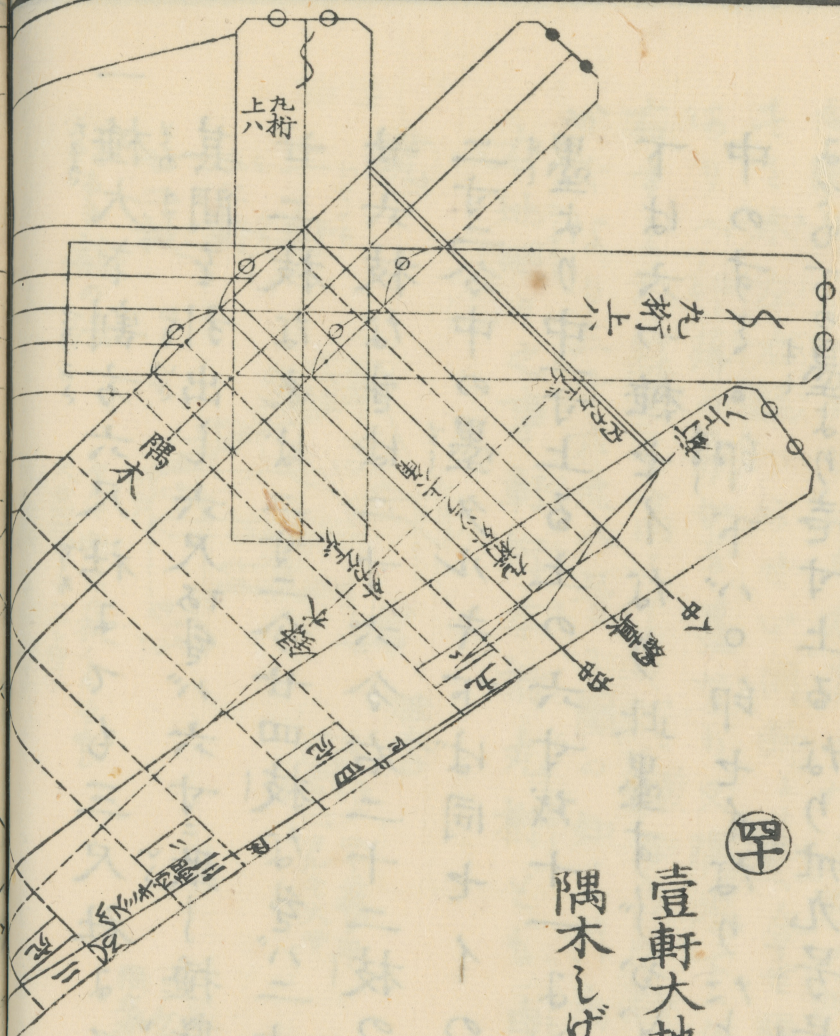


一榑大を割方六尺社よりも三尺社よりもよし  
 其間を引出し六尺はせバ六寸致し榑數ラ定めて  
 廿二枝なれば二寸二分廿四枝なせバ二寸四分なり  
 廿六枝なせバ二寸六分右二十二枝の割六寸は  
 二寸二分中の墨タルキ下は同セイの墨下の  
 墨より中一寸上る上の六寸致十一は割五つ榑  
 下は六つ榑セイなり此墨すドかいと引出し  
 中のすと・印下バ。印セイなりたとへ廿六枝  
 よりも下の墨よりき寸上るなり元九号番の如く也



④

壹軒大地反リ茅負  
隅木しげ極き造り法





一 壹軒<sup>ひとのき</sup>桁<sup>け</sup>行<sup>ゆき</sup>真<sup>しん</sup>尺<sup>しち</sup>二寸<sup>にすん</sup>榑<sup>かす</sup>數<sup>かず</sup>二十二枝<sup>にじふにえ</sup>  
榑<sup>はり</sup>大<sup>ゆき</sup>さ<sup>しん</sup>下<sup>しん</sup>ハ二<sup>ふた</sup>分<sup>ぶん</sup>五<sup>ご</sup>厘<sup>りん</sup>七<sup>しち</sup>イ三<sup>さん</sup>分<sup>ぶん</sup>  
梁<sup>はり</sup>行<sup>ゆき</sup>真<sup>しん</sup>一<sup>いち</sup>尺<sup>しち</sup>。九<sup>く</sup>令<sup>れい</sup>榑<sup>かす</sup>數<sup>かず</sup>二十<sup>にじふ</sup>枝<sup>え</sup>  
軒<sup>のき</sup>の出<sup>で</sup>ハ七<sup>しち</sup>枝<sup>え</sup>平<sup>ひら</sup>榑<sup>たるき</sup>三<sup>さん</sup>寸<sup>すん</sup>向<sup>むか</sup>配<sup>はい</sup>也<sup>なり</sup>

建築技士 東以波保著

和洋住宅間取雛形

和装石版印刷  
正價金八圓  
郵税金八圓

新刊 建築收實諸禮式

和装全三冊  
正價金八圓  
郵税金八圓

龜田吉郎平君著

和洋建築新雛形

和装中紙本  
全六冊  
正價金六圓  
郵税金六圓

石井卯三郎君 泉幸次郎君 合著

再版 新撰大匠雛形大全

和装中紙本  
全六冊  
正價金六圓  
郵税金六圓

久寶庵主人著

席茶 數寄屋構造法

和装牛紙本  
全五冊  
正價金五圓  
郵税金五圓

泉幸次郎君著

大匠新雛形全書

和装横本全六冊  
正價金八圓  
郵税金八圓

泉幸次郎君著

家屋建築雛形

和装横本全六冊  
正價金八圓  
郵税金八圓

新撰堂宮雛形

和装全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

和洋家具雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

新撰石工雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

新撰建具雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

新撰座敷雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

新撰欄間雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

和洋繪樣雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢

西洋建築雛形

同上全二冊  
正價金三十五錢  
郵税金四錢



新編棚雛形

和裝横本全二  
郵送税金二十錢  
錢冊

和洋左官雛形

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

大匠町家雛形

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

新撰繪樣雛形

和製横本全二  
郵送税金二十錢  
錢冊

新撰彫工雛形

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

新撰家具雛形

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

新撰茶席雛形

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

隅矩獨稽古

同上全一  
郵送税金二十錢  
錢冊

新撰隅矩雛形

和裝大本全一  
郵送税金四十五錢  
錢冊

新撰宮雛形

和裝半紙  
郵送税金四十錢  
錢冊

新撰規矩雛形

同上全一  
郵送税金四十錢  
錢冊

西洋建築雛形

同上全一  
郵送税金四十錢  
錢冊

明治新隅矩早學

同上全一  
郵送税金四十錢  
錢冊

明治新撰建具雛形

同上全一  
郵送税金四十錢  
錢冊

明治新撰當世繪樣集

同上全一  
郵送税金四十錢  
錢冊

新繪樣欄間集

和裝半紙  
郵送税金四十錢  
錢冊

福井縣坂井郡栗村石橋第七號六十四番地

松原辰藏



